

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

| 科目番号 | 科目名 | 担当者名 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-------|---|--------|--------|-----|--------|---------|
| 52302 | 教育・保育課程論 Theory of Education and Child care Curriculum | 岡田 真智子 | 専門 | 2 | 選択 | 2年 前期 |

科目の概要
カリキュラムには、私たちが「子ども」をどのような存在として捉え、保育を目指しているのかという根本的な問いが描き出されるものである。そこで、それらを実現する方法を考え、それによって導き出される教育課程、保育課程の編成と指導計画のあり方や作成について具体的に理解する。
また、指導計画を作成するためには、子どもを観察するところから始まるため、観察の方法と記録の仕方についても理解を深め、計画・実践・省察・評価・改善の過程についてその全体を能動的にとらえ理解する。

| 学修内容 | 到達目標 |
|---|--|
| ① 保育の基本とカリキュラムの意義を理解する ② 教育課程、保育課程、指導計画の意義と目的について基礎理解する。 ③ 乳児保育、幼児保育における指導計画をデザインする ④ 短期・長期・部分やさまざまな指導計画のデザインと実践展開をする。 ⑤ 保育の計画は記録・反省・評価から再立案へと展開することを理解する | ① 保育の基本とカリキュラムの意義を理解する ② 教育課程、保育課程、指導計画の意義と目的について基礎理解し活用する ③ 乳児保育、幼児保育における指導計画を作成する ④ 短期・長期・部分やさまざまな指導計画を作成し実践展開ができる ⑤ 計画を記録・反省・評価から再立案へと展開できる |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

| | | |
|---------|-------------|---|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 年齢に合わせ指導計画を作成する。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 課題にそって指導計画を作成する |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 事例を読み解き、指導計画案の構成を理解し実践に結び付ける |
| | 計画力 | 豊かな発想をもち、子どもの発達、育ちの筋道を予測して実現性の高い指導計画を作成する |
| | 創造力 | 豊かな発想をもち、子どもの発達、育ちの筋道を予測して実現性の高い指導計画を作成する |
| チームで働く力 | 発信力 | 立案した指導計画を分析し説明することができる |
| | 傾聴力 | 他者の計画、分析を聞く中で自分なりの意見、考えを比較し再構築できる |
| | 柔軟性 | |
| | 状況把握力 | |
| | 規律性 | 講義開始時間や課題提出期限や時間などには余裕をもって対応する。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献
テキスト:『保育カリキュラム論』豊田和子・新井美保子 編著 建帛社
参考文献:『幼稚園教育要領解説』文部科学省、『保育所保育指針解説書』厚生労働省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館、教育・保育実習実技ガイド、ひかりのくに・教育・保育実習安心ガイド、ひかりのくに配布するプリント

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:教育実習、保育実習、保育・教職実践演習
資格との関連:幼稚園教諭2種免許、保育士資格

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|---|---|
| 保育者を目指す者として、ふさわしい自覚をもって受講すること。 常に、「自分が保育者の立場だったらどのような行動をとるだろうか」と考え、自分なりの考え方、保育観を構築できるように努めること。 | ・テキストや指針や要領を必ず持参のこと ・実習で作成した指導計画や資料(授業内で配布予定)などを基に指導計画を作成するので常に保育内容を考えておくこと。 ・身近な乳幼児を意識し観察することで子ども理解を深め年齢、発達を考えて保育内容作成に役立てる。 ・演習があるときには事前に幼児の発達をもとに保育内容を考えておくこと。 |

【評価方法】

| 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント |
|------------------|-------|------|---|---|
| 筆記試験 | 50 | ① | ✓ | カリキュラムについての理解を確認する。また、指導計画をデザインする際に大切にすべきことは何かを理解できているかを評価する。他に、保育課程、教育課程をもとに長期や短期指導計画を作成することになっているが互いの計画の整合性を理解できているかどうかを評価する。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | ✓ | |
| | | ⑤ | ✓ | |
| 小テスト | | | | |
| レポート | 10 | ① | ✓ | <ul style="list-style-type: none"> ・指導計画と意義についてよく理解できているか。5点 ・指導計画をデザインするために重要点が把握できている。5点 |
| | | ② | | |
| | | ③ | | |
| | | ④ | | |
| | | ⑤ | ✓ | |
| 成果発表 (口頭・実技) | | | | |
| 作品 | 30 | ① | ✓ | 保育課程、教育課程、年間指導計画、期間指導計画、月指導計画、週指導計画、日指導計画・部分指導計画、食育計画・長時間保育指導計画、連絡ノートそれぞれの持つ意味を理解しそれぞれの項目に沿って立案する。(10×3点:完成度を3段階評価…よくできている・3点、できている・2点、課題が残る・1点) |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | ✓ | |
| | | ⑤ | ✓ | |
| 社会人基礎力 (学修態度) | 10 | ① | | (主体性) 年齢に合わせ指導計画を作成できる。 (実行力) 課題にそって指導計画を作成できる (課題発見力) 事例を読み解き、指導計画案の構成を理解し実践に結び付ける (計画力) 豊かな発想をもち、子どもの発達、育ちの筋道を予測して実現性の高い指導計画を作成できる (創造力) 豊かな発想をもち、子どもの発達、育ちの筋道を予測して実現性の高い指導計画を作成できる (発信力) 立案した指導計画を分析し説明することができる (傾聴力) 他者の計画、分析を聞く中で自分なりの意見、考えを比較し再構築できる (規律性) 講義開始時間や課題提出期限や時間などには余裕をもって対応できる。 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題などの未提出)がみられる場合は減点とする 6回以上の欠席は放棄判定となる |
| | | ② | | |
| | | ③ | | |
| | | ④ | | |
| | | ⑤ | | |
| その他 | | | | |
| 総合評価割合 | 100 | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベル A(優)の基準 | 到達レベル B(良)の基準 |
|---|---|
| 授業態度はもちろんのこと、提出物の期限を守り、カリキュラムについての理解し、子どもの姿を反映し、独自性を持った指導計画の立案ができる。 | 授業態度、提出物の期限を守り、カリキュラムについての理解や子どもの姿を反映した、指導計画が立案できる。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|------|-----------------------------|------------------|---|--|----------|------------|
| 1週 / | オリエンテーション 保育の基本とカリキュラム | 講義 | 授業の目的、授業内容、進め方、受講態度、評価方法についての説明を聞き理解する。保育の基本とカリキュラムの意味を知る | (予習)テキストのはじめにを読んでおく | 90 | 課題発見力 |
| 2週 / | 保育実践とカリキュラムの意義 | 講義 | 保育実践においてカリキュラムを編成することの意義や活用の利点について学ぶ | (予習)テキスト9～18を読んでおく | 90 90 | 課題発見力 |
| 3週 / | 保育実践とカリキュラムの位置づけと関係 | 講義 | カリキュラムの種類やカリキュラム編成の流れや実践例を通して保育実践とカリキュラムとの関係を理解する。 | (予習)テキスト9～18を読んでおく 保育課程をよく見て理解する。 | 90 90 | 課題発見力 |
| 4週 / | 保育所保育指針における「保育課程」の基礎理解 | 講義 演習(保育課程) | 保育所では、保育所保育指針に挙げられた保育の目標を達成するために、「保育の計画」を作成し、それに基づき保育実践を行う全体的な「保育課程」について理解する。 | (予習)保育所保育指針の総則を読んでおく 指導計画を作成するポイントを整理しておく。 | 90 90 | 課題発見力 |
| 5週 / | 保育所保育指針における「指導計画」の基礎理解 | 講義 演習(年間指導計画) | 具体的な計画である「指導計画」について作成上のポイントや計画に対して基礎理解をし、指導計画を作成する。 | (予習)指導計画の作成について予習しておく 教育課程をよく見て理解する | 90 90 | 計画力 創造力 |
| 6週 / | 幼稚園教育要領における「教育課程」の基礎理解 | 講義 演習(教育課程) | 幼稚園教育要領における「教育課程」には保育を行うにあたっての保育の方向性が書かれている。その目的は、保育における意義とは何かを理解する。 | (予習)幼稚園教育要領の教育課程の意義を読んでおく 長期・短期指導計画を理解し関係性を見つけておく | 90 90 | 課題発見力 |
| 7週 / | 幼稚園教育要領における「指導計画」の基礎理解 | 講義 演習(短期指導計画) | 具体的な計画である「長期指導計画」や「短期の指導計画」について作成上のポイントや計画に対して基礎理解を私作成する。 | (予習)指導計画作成のポイントを予習しておく 未満児の始どいう計画についての特徴をまとめておく | 90 90 | 計画力 創造力 |
| 8週 / | 乳児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(1) | 演習 演習(月指導計画) | 0・1・2歳児の発達の特徴を理解し、どのような活動で一日が構成されているのかを知り、活動の意義を考える。 | (予習)乳児の発達の特徴を理解しておく | 90 90 | 計画力 創造力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|-------|-----------------------------|--------------------------|---|--|----------|------------|
| 9週 / | 乳児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(2) | 講義 演習(連絡帳) | 0・1・2歳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを学ぶ。また、家庭との連携について学ぶ。 | (予習)乳児の生活の流れを把握しておく | 90 90 | 計画力 創造力 |
| 10週 / | 幼児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(1) | 講義 演習(週指導計画) | 3・4・5歳児の発達の特徴を理解し、どのような活動で一日が構成されているのかを知り、活動の意義を考える。 | (予習)幼児の発達の特徴を理解しておく | 90 90 | 計画力 創造力 |
| 11週 / | 幼児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(2) | 講義 演習(日指導計画案) | 3・4・5歳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを学ぶ。また、家庭と地域との連携について学ぶ。 | (予習)季節や時期、場所や人数による保育内容の編成を考える | 90 90 | 計画力 創造力 |
| 12週 / | さまざまな保育の「指導計画」のデザインと実践展開(1) | 講義 演習(食育計画・長時間保育指導計画) | 長時間・延長保育、預かり保育の場合の「指導計画」の工夫を実施状況や実施の留意点について学ぶ。 | (予習)指導計画の多様性を調べておく | 90 90 | 計画力 創造力 |
| 13週 / | さまざまな保育の「指導計画」のデザインと実践展開(2) | 講義 演習(保幼小連携指導計画) | 保幼小連携の場合の「指導計画」の工夫からカリキュラムづくりの意義や実践よりこれからの課題について考える。 | (予習)保幼小連携とはどのようなことかを考えておく | 90 90 | 計画力 創造力 |
| 14週 / | 記録・反省・評価から再立案へ(1) | 講義 | 保育者が保育実践を記録することの意味や方法について学ぶ。 | (予習)実習記録に目を通しておく 記録から反省を生かして評価し今後どうすべきかをまとめておく。 | 90 90 | 課題発見力 |
| 15週 / | 記録・反省・評価から再立案へ(2) | 講義 グループ討議 | 指導計画を自分の保育に生かすためにはどのようにしたらよいのか、また今後の課題について理解を深める。 | (予習)実習記録をもとに自己課題を考え、自己課題をまとめ一覧表にしておく。 | 90 90 | 課題発見力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力